



食べ物、自然、環境に関心があり、農業に興味のあるあなたへ

2018年度本科研修生の募集のお知らせ

自然農法センターでは、自然農法による就農を目指す方、自然を活かし地域風土を育む「農」と関わっていくことを希望する方、農業指導を目指す方などを対象として、自然農法の理念および農業技術を修得した生産者・技術者を養成し、広く人材を輩出するための研修事業を行っています。自然農法センターの本科研修を修了した方は、2017年3月現在で104名います。その中の半数近くが就農し、良質な農作物の栽培に従事しています。

研修の概要

8か月間を研修寮で過ごしていただきます。3つの研修コースに分かれて、作物栽培と圃場管理の実習を中心として、作物栽培を通した自然観察と自然農法の技能・技術、専門的な知識を修得します。また農業試験場の試験研究の補助を通して、作物の一生や田畑の自然を読み解く科学的なアプローチを学び、自然の力を活かす応用力を身に付けます。

研修中に担当職員と話し合い、興味ある事をテーマにレポートを作成し、研修の最後に発表していただきます。また、研修生が自由に使える圃場を提供し、品種比較や栽培法の違いなど自由に栽培することもできます。

その他、全コース共通の作業実習（田植え、交配、採種、有機肥料作り等）や講義（センター職員、外部講師による）、講習会の聴講、農家見学等の所外研修も実施します。

研修修了後も、職員がアドバイスや圃場調査等でサポートすることもできます。

(1) 野菜栽培コース

作物の播種から収穫までの栽培管理、作物の切り替え等の作業を通して、耕地生態系の特徴と働きを利用した、露地野菜とムギ類やダイズなどの作物の複合的な畑作の実習を行います。

研修作目： キャベツ、ハクサイ、スイートコーン、カボチャ、トマト、ナス、ニンジン、ダイズ等（年度により異なります）

(2) 水稻栽培コース

水稻の播種から収穫、育土等の栽培管理を通して、イネの基本生理や雑草生態を学び、水田の生態系を維持・発展させる水稻生産技術について実習を行います。試験場のある長野県を中心に、有機水田の現地調査も行います。

(3) 自家採種コース

タネまきからタネとりまでの圃場管理と栽培、系統の選抜を通して、自然農法栽培

に適した種子を得るための採種技術と、交配や系統選抜など種子育成の基礎について実習を行います。

採種実習作目：果菜類（トマト、ナス等）、葉菜類（レタス等）、根菜類（カブ、ダイコン等）、雑穀・豆類等

募集要項

申込資格 高卒程度の学力を有し、身体強健で通院を伴う疾病のない者

申込期間 2017年10月2日から12月10日（必着）

募集人員 6名（各コース2名程度）

受入期間 3月下旬～11月下旬（8か月）

研修場所 （公財）自然農法国際研究開発センター 農業試験場（長野県松本市）

研修待遇 全寮制（賄いあり）／休日あり

研 修 費 144,000 円／8 ヶ月（研修費・寮費・食費・作業着等貸与費・所外研修費・傷害保険費等含）

修了証明 課程満了で自然農法本科研修修了証明書を授与します

特 典 就農時には、土壌分析と米の品質分析および自然農法の種子の提供を受けることができます。

申込方法 所定の履歴書に記載し、健康診断書と合わせて郵送して下さい。履歴書のダウンロードや健康診断項目については <http://www.infrc.or.jp/reseach/151/> を参照。

※応募者多数の場合は、書類選考があります。

研修の様子

財団ホームページ内の圃場だよりで研修の様子を公開しています。

右記の QR コードでアクセスし、ご覧ください。

アドレスは <http://www.infrc.or.jp/blog/blogcat/station/> です。



研修修了生紹介

財団ホームページ内で公開しています。

右記の QR コードでアクセスし、ご覧ください。

アドレスは <http://www.infrc.or.jp/reseach/1902/> です。



募集に関するお問い合わせ・お申し込み

公益財団法人 自然農法国際研究開発センター 研究部研修課

〒390-1401 長野県松本市波田 5632-1 Tel. 0263-92-6800 / Fax 0263-92-6808

ホームページ <http://www.infrc.or.jp/reseach/151/> メール kensyu@infrc.or.jp

興味を持たれましたら圃場や施設の見学も可能です。質問歓迎です。連絡お待ちしております。